

つどいの広場のネットワーク



12月のお誕生会に集まったお母さんと子どもたち。

このコーナーでは「つどいの広場」事業を連載します。「つどいの広場」事業は、親子が気軽に立ち寄れる居場所づくりなどを目的としています。

「つどいの広場」事業の概要については <http://www.mhlw.go.jp/bunya/kodomo/kosodate.html> をご参照ください。



PTAの仲間呼びかけ 居場所づくりを

特定非営利活動法人ちやちやはうすは、息子さんが幼稚園に通っているときから10年間もPTA活動をされた安孫子浩子さんが、「一過性のPTA活動で終わるのはもったいない」と、PTA仲間呼びかけて結成した子育て支援のNPO法人で、平成16年に認証されました。

当時は、全国各地に「つどいの広場」が広がり始めた時期で、茨木市内にも2か所できました。

「ずっとやりたいと思っていたので、茨木市に直接交渉し、平成17年度から委託先として認めてもらいました。ところが、市から助成金を受け取るのには年度終了頃で、それまでの間は運転資金がなく、自転車操作でしたね。」と、安孫子さんは振り返ります。転勤で茨木市に引越してこられた方が「ここがあつて本当によかった」との涙ながらの声、通つて

PTA活動の仲間が集い 地域に根ざした子育て支援 特定非営利活動法人ちやちやはうす (大阪府茨木市)

特定非営利活動法人ちやちやはうすは、PTAと一緒に活動してきた仲間の協力によって生まれました。小学校の近くのマンションの一室で「つどいの広場」を開設し、親子ともどもホッとできる居場所を提供しています。

くる子どもたち
が日に日に
成長する姿な
ど、ちやちや
はうすには喜
びがあふれて
います。

取材当日
は、12月生ま
れの子どもた
ちと親御さん

が集まって「お誕生会」が催されました。

まずは親子で写真撮影し、それぞれの「おたんじょうカード」に貼ってもらいます。

パネルシアターやエプロンシアターを楽しんだ後は、おしゃべりタイム。子どもたちには「今日は特別にここで食べていいよ」と、お祝いのお菓子が配られます。



運営スタッフ(下の中央が安孫子さん)。

目次

- ◆つどいの広場ネットワーク 2
- ◆福祉活動最前線 4
地域で支える障害者の自立
- ◆スポットライト 10
日本ファンドレイジング協会発足
- ◆特集「長寿・子育て・障害者基金」
特別分複数年助成及び地方分モデル
事業 11
 - ・小規模多機能サービス拠点を中心に
した地域ネットワークづくり事業
(特別分複数年助成事業)
 - ・携帯電話メールによる子育て情報
配信事業(地方分モデル事業)
- ◆障害者自立支援法
抜本的見直しに向けた動き 16
- ◆チャレンジレポート 18
 - ・特定非営利活動法人メディカル・
コミュニケーション・ネットワーク
 - ・特定非営利活動法人ハートスペースM
 - ・宝塚障害者スポーツクラブ・ポッ
チャ部
- ◆NPOゼミナール 24
NPO立ち上げから運営までの基礎知識
— NPOの税務 —
- ◆NPO自治体協働事業レポート 28
おとうさんのヤキイモタイム
- ◆福祉活動TIPS 30
笑み筋体操
- ◆再録 メイコのいきいきモーニング... 32
特定非営利活動法人恒河沙母親の会
- ◆東西南北 34
- ◆福祉関係シンボルマーク 35
ハートフルマーク



「WAM(ワム)」は、福祉(Welfare)と(And)医療(Medical service)の頭文字をとって名づけられた、独立行政法人福祉医療機構の略称です。



地域交流のきっかけに

「経済的には決して楽ではありませんが、広い場所に引越すこともできませんが、地域住民なら

おもちゃで遊ぶ子もいれば、お母さんと遊ぶ子もいます。お母さんたちも、病院や幼稚園について情報交換しています。ゆるやかに時が流れ、みんなとても楽しそうです。



クリスマス会にはたくさんの親子が集まりました。

ではの強みもたくさんあります。PTA時代に自治会と仲良しになっていたので、秋の運動会に呼んでいただいたり、民生委員さんに来ていただいたりして、地域の中の交流のきっかけづくりにも一役買っています。まちで会ったらいさつをかわすような、顔見知りの関係が広がってきたのが本当にうれしいです」と、安孫子さんはおっしゃいます。

また、平成18年度に、独立行政法人福祉医療機構(WAM)の子育て支援基金「地方分」の助成を受け、大阪府内の「つどいの広場」を実施している団体が交流を深め、情報交換しあうべく「大阪つどいの広場ネットワーク」を起ち上げました。

「月に1回は近くのコミュニティセンターで親学習を行っています。意図的に一人暮らしの高齢者の食事会の日程に合わせ、親子連れで高齢者と交流できるように工夫しています。お年寄り子どもと接

することで元気をもらい、子どもはお年寄りに可愛がってもらって大喜び。いずれは高齢者支援と子育て支援を一緒にやれたらいいなと思っています。今は手狭だから無理ですけどね」と、安孫子さんは夢をふくらませます。

PTA時代に築き上げたネットワークをフルに活用し、地域に根ざした活動を展開するちゃちゃはうすは、これからも「地域デビュー」の場として、また、ホッと安心できる場所として、たくさんの子を笑顔で包み込んでくれることでしょう。

取材協力

特定非営利活動法人ちゃちゃはうす

〒567-0041
大阪府茨木市下穂積1-6-21
コーポエコ-101号
TEL&FAX. 072-664-6331
<http://www.hcn.zaq.ne.jp/chacha-house/>